



Special Olympics

Be a fan™

2014年度 ルール変更 対照表

競技名：テニス

変更前の内容	変更後の内容
<p>セクションB 競技ルール</p> <p>1. ディビジョニング</p> <p>テニス評価フォームは、テニス用公式スペシャルオリンピックスポーツルールのセクションCに記載されている。</p> <p>2. マッチプレー</p> <p>a. マッチは次のうち1つから成る：</p> <p>2) 2セット先取の短縮ゲームセットによる試合。</p> <p>対戦相手に2ゲーム以上の差をつけ、1セットの内4ゲームを先取した選手またはチームがそのセットの勝者である。スコアが4ゲームオールになった場合、7ポイント先取のタイブレーク・ゲームが行われる。セットカウントが1セットオールになった場合も、試合の勝者を決めるため、7ポイント先取のタイブレーク・ゲームが行われる。この場合のタイブレーク・ゲームはファイナル・セットの代わりとなる。</p>	<p>セクションB 競技ルール</p> <p>1. ディビジョニング</p> <p>テニス評価フォームは、テニス用公式スペシャルオリンピックスポーツルールのセクションDに記載されている。</p> <p>2. マッチプレー</p> <p>a. マッチは次のうち1つから成る：</p> <p>2) 3セットマッチの短縮ゲームセットによる試合</p> <p>対戦相手に2ゲーム以上の差をつけ、1セットの内4ゲームを先取した選手またはチームがそのセットの勝者である。スコアが4ゲームオールになった場合、7ポイント先取のタイブレーク・ゲームが行われる。セットカウントが1セットオールになった場合も、試合の勝者を決めるため、10ポイント先取のタイブレーク・ゲームが行われる。この場合のタイブレーク・ゲームはファイナル・セットの代わりとなる。3.0未満のレイティングのアスリートには推奨されない。</p> <p>3) 3セットマッチのゲームセットによる試合</p> <p>対戦相手に2ゲームの差をつけ、6ゲームを先取した選手またはチームがそのセットの勝者である。スコアが6ゲームオールになった場合は、7ポイント</p>

<p>c. スペシャルオリンピックスより認定を受けたコーチ1人がコートに座っても構わない（座る椅子は、コート面の外、ネットポストの横の審判の椅子の隣とする）。コーチは、選手が奇数番目のゲームの終わりにエンドチェンジをする際、選手に指導しても構わないが、各セットの第一試合の後や、タイブレーク中に行ってはならない。</p> <p>3. ユニファイドスポーツ® ダブルス</p> <p>a. ユニファイドスポーツ® ダブルスの各ペアは、アスリート1名とパートナー1名より成る。</p>	<p>先取のタイブレーク・ゲームが行われる。セットカウントが1セットオールとなった場合も、試合の勝者を決めるため10ポイント先取のタイブレーク・ゲームが行われる。この場合のタイブレーク・ゲームはファイナル・セットの代わりとなる。6.0未満のレイティングのアスリートには推奨されない。</p> <p>4) 3セットマッチゲームの場合には、10ポイントタイブレーク・ゲームを行う前に3分の休憩を与える。</p> <p>c. スペシャルオリンピックスより認定を受けたコーチ1人がコートに座っても構わない（座る椅子は、コート面の外、ネットポストの横の審判の椅子の隣とする）。コーチは、選手が奇数番目のゲームの終わりにエンドチェンジをする際、あるいはタイブレーク・ゲーム前の残りピリオドの3分間は選手に指導しても構わないが、各セットの第一試合の後や、タイブレーク中に行ってはならない。</p> <p>d. 2人以上のアスリートあるいはチームの最終ポイントが同じ場合、以下の順に従って勝敗を決める。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) すべてのマッチ内で失ったセット数が最少であること。 2) すべてのマッチ内で勝ったゲーム数が最大であること。 3) すべてのマッチ内で失ったゲーム数が最少であること。 4) (チーム以外の場合)直接対決の結果。 <p>3. ユニファイドスポーツ® ダブルス</p> <p>a. ユニファイドスポーツ® ダブルスの各ペアは、SO(または ITN)レイティングで定義された同じ程度のスキルを持つ知的障がい</p>
--	--

をもつプレーヤー1名と、知的障がいを持たないプレーヤー1名より成る。

4. 個人技能競技

注：競技責任者は個人技能競技が行われる各競技会において、どの種類のボールを使用するかを指定しなければならない。これらは従来のテニスボール、低圧のボール、もしくはスポンジ状のボールでもよい。個人技能競技で使用するボールは、プロテニス協会 (PTR) 公認のスピードボール®が推奨される。

a. フォアハンドボレー

1) アスリートはネットから約1m離れて立ち、球出しの人は反対側のコートのサービスラインとネットの間に立つ。アスリートにはボールが5回出され、ネットの向こう側にうまくボールを打ち込めるかを競う。球出しの人は、アスリートのフォアハンド側に下手投げでトスする。

2) アスリートは、バックコート内、つまりベースライン、サービスライン、シングルスサイドラインに囲まれる範囲に打ち返すと、10ポイントが与えられる。どちらかのサービスボックス内に打ち返すと、5ポイントが与えられる。

c. フォアハンド・グランドストローク

1) アスリートはベースライン上、またはその後ろに立つ。球出しの人は、同じコートのネットとサービスラインの間に立ち、下手投げでボールをトスし、ワンバウンドしてからアスリートのフォアハン

4. 個人技能競技

注：競技責任者は個人技能競技が行われる各競技会において、どの種類のボールを使用するかを指定しなければならない。レベル1のボールは赤色のスポンジボールである。これらは従来のテニスボール、低圧のボール、もしくはスポンジ状のボールでもよい。個人技能競技で使用するボールは、プロテニス協会 (PTR) 公認のスピードボール®が推奨される。

a. フォアハンドボレー

1) アスリートはネットから約1m離れて立ち、球出しの人はネットの反対側のコートのサービスラインとネットの間に立つ。アスリートにはボールが5回出され、ネットの向こう側にうまくボールを打ち込めるかを競う。球出しの人は、アスリートのフォアハンド側に下手投げでトスする。

2) アスリートはサービスコートに打ち返すと、5ポイントが与えられる。

c. フォアハンド・グランドストローク

1) アスリートはサービスラインの中央(T)から1m後ろに立つ。球出しの人は、ネットの反対側のサービスラインとネットの間に立ち、下手投げでボールをトスし、ワンバウンドしてからアスリートのフォ

<p>ド側に届くようにする。1 人のアスリートにつき 5 回挑戦する。</p> <p>2) アスリートは、バックコート内、つまりベースライン、サービスライン、シングルスサイドラインに囲まれる範囲に打ち返すと、10 ポイントが与えられる。どちらかのサービスボックス内に打ち返すと、5 ポイントが与えられる。</p> <p>g. 動きを伴う左右交互のグランドストローク</p> <p>1) アスリートはセンターマークの上、あるいはベースラインの後ろに立つ。球出しの人は同じコートサイドのサービスラインとネットの間に立ち、アスリートのフォアハンド側とバックハンド側へ交互にボールをトスする。球出しは、全てサービスラインとベースラインの間地点で、かつセンターマークとシングルスサイドラインの間地点に行うようにすること。次のボールが出される前に、アスリートはセンターマークまで戻ることができる余裕が与えられなければならない。1 人のアスリートにつき 10 回挑戦する。</p> <p>2) アスリートは、バックコート内、すなわちベースライン、サービスライン、シングルスサイドラインに囲まれる範囲に打ち返すと、10 ポイントが与えられる。どちらかのサービスボックス内に打ち返すと、5 ポイントが与えられる。</p>	<p>アハンド側に届くようにする。1 人のアスリートにつき 5 回挑戦する。</p> <p>2) アスリートは、どちらかのサービスコート内に打ち返すと、5 ポイントが与えられる。</p> <p>g. 動きを伴う左右交互のグランドストローク</p> <p>1) アスリートはサービスラインの中央(T)から 1m 後ろに立つ。球出しの人は、ネットの反対側のサービスラインとネットの間に立ち、アスリートのフォアハンド側とバックハンド側へ交互に下手投げでボールをトスする。球出しはすべてサービスラインとネットの間地点で、かつセンターラインとシングルスサイドラインの間地点に行うようにすること。次のボールが出される前に、アスリートはセンターマークまで戻ることができる余裕が与えられなければならない。1 人のアスリートにつき 10 回挑戦する。</p> <p>2) アスリートは、どちらかのサービスコート内に打ち返すと、5 ポイントが与えられる。</p>
	<p>セクション C - レベル</p> <p>以下はすべての能力のアスリートに対し競技の機会を提供するために考案されたレベルである。競技レベル 2 から 5 は、シングルス、ダブルス、ミックスダブルス、そしてユニファイドダブルスである。</p>

	<p>1. レベル 1 個人技能競技 テニス評価 1.0 - 1.9 ITN(インターナショナルテニスナンバー) 10.3-10.2 42 フィートコート - 赤色のスポンジボール</p> <p>2. レベル 2 マッチプレー テニス評価 2.0 - 2.9 ITN(インターナショナルテニスナンバー) 10.1 42' フィートコート - 赤色のスポンジボール</p> <p>3. レベル 3 マッチプレー テニス評価 3.0 - 3.9 ITN(インターナショナルテニスナンバー) 10 60 フィートコート - オレンジ色のボール</p> <p>4. レベル 4 マッチプレー テニス評価 3.0 - 4.9 ITN(インターナショナルテニスナンバー) 9 78' フィートコート - 緑色のボール(黄色地に緑色の水玉模様が付いたボール)</p> <p>5. レベル 5 マッチプレー テニス評価 5.0 - 8.0 ITN(インターナショナルテニスナンバー) 8,7,6 78 フィートコート -黄色のボール</p> <p>注意: レベル 3 はトレーニングを目的した移行のためのレベルとして設けられている。このレベルで十分にプレーすることができる参加者がいる場合に (のみ) 使用することができる。上記のスペシャルオリンピックステニス評価はシングルに対してのものであり、アスリートがダブルスでプレーする場合には、評価の範囲がこの 2 倍の数字となる。例: ダブルスの場合のレベル 4 は 6.0 - 9.8 となる。</p>
--	---

参照:

テニス評価シート

[http://media.specialolympics.org/soi/
files/resources/Sports-Rules-Competitions/
Tennis/Tennis_Rating_Sheet_2012.docx](http://media.specialolympics.org/soi/files/resources/Sports-Rules-Competitions/Tennis/Tennis_Rating_Sheet_2012.docx)

レベル別のコート図

[http://media.specialolympics.org/soi/
files/resources/Sports-Rules-Competitions/
Tennis/Levels_court_diagrams.docx](http://media.specialolympics.org/soi/files/resources/Sports-Rules-Competitions/Tennis/Levels_court_diagrams.docx)